

# ◇ 令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

◇ 令和2年度の事業活動実績について報告致します。

## 1. 総括

令和2年度の事業活動は、下記活動をとおして、ほぼ事業計画どおり地域社会の高度情報化事業を促進することができました。

事業活動は以下の方針に沿って実施しました。

情報化に関する調査・研究・研修・広報活動等の事業を実施し、県民が情報サービスの恵沢を広く享受できる環境づくりや、情報サービス産業の健全な発展を図ることにより高度情報通信ネットワーク社会の形成を推進して地域経済の発展及び公共福祉の増進に寄与する。

各事業活動は、理事会、企画調査室、各部会、事務局がそれぞれの機能を活かし事業を分担しながら実施することとしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う制約を受け、予定していた行事等を中止ないし規模を縮小せざるを得ない一年となりました。

このような中であって、会員が一致団結し、創意工夫を重ねて「第2回千葉県内中小企業向けビジネス交流会」を開催する他、千葉県の委託事業である「中小製造業向けスマート化推進事業」を継続受託しその達成を図ることができました。

また、行事関連記事が少ない状況下であって、新型コロナと戦う会員企業の実態をアンケート記事として掲載し、発行されたチサ・ジャーナルは、会員並びに地域社会に対し、新たな希望を与えるものとなりました。

これらの活動を通じ、令和2年度も協会の使命である地域経済の発展と公共の福祉に増進することができました。

## 2. 事業活動報告

下記の事業活動組織（1室・5部会）が中核となり事業活動を実施しました。

（事業活動組織）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| a. 企画調査室    | d. 広報部会      |
| b. 総務福利厚生部会 | e. 教育技術部会    |
| c. 事業企画部会   | f. コンソーシアム部会 |

## (1) 情報サービスに関する調査及び研究に関する事業

令和2年度は、次の事業を実施しました。

### ①情報技術研究、調査に関する事業

#### A. ANIA活動

ANIA(全国地域情報産業団体連合会)が主催し毎年開催されている全国大会、賀詞交歓会は中止されましたが、総会、理事会、事務局長会議はWeb形式で開催され、当協会は積極的に参加し情報交換・収集を行いました。(7月9日、8月4日、10月26日、2月4日)

#### B. 千葉県内大学による卒業論文発表会

毎年県内理系大学の学生や専門学校生による卒業論文発表会を開催し、学生の勉学向上支援と、情報産業界、教育界、官公庁間の連携強化を図った事業を展開していましたが、前年度は開催を中止しました。

#### C. 視察ツアー

前々年度の「IOT千葉県内酵母産業の現況視察ツアー」中止に続き、前年度も開催を中止しました。  
本事業は、他業態の実態を肌で体験しIT推進に活かす目的で実施しており、過去の開催実績は、「農業の実情把握」「漁業の実情把握」「オーガニックと地域活性化の現況把握」ツアーがあります。

## (2) 情報化に関する普及啓発及び促進に関する事業

令和2年度は次の事業を実施しました。

### ①情報システムの普及推進支援事業

#### A. ちばIT利活用フォーラム(11月10日)

千葉県地域IT化推進協議会との共催で、Web形式で開催しました。対面式の開催ができませんでしたが、官公庁、当協会会員企業、会員外企業等の方々が多数視聴参加され、内容が分かり易かったと講評を得ました。なお、本開催は前々年と同じく、次項の「千葉県内中小企業向けビジネス交流会」と同時開催となりました。

当日の本フォーラムのテーマは、「先駆者が語るデジタルトランスフォーメーション」で、以下の3講演が行われました。

- a. 日本におけるDXの推進について
- b. DX企業への変革の挑戦について
- c. 自治体における先進的なDXの取扱について

## B. 千葉県内中小企業向けビジネス交流会

千葉県内中小企業のIT化を支援する目的で、当協会会員企業による「ITの展示会」と「セミナー」をWeb形式で開催しました。Web形式の開催は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためですが、初めての試みであったため視聴者の反応を心配しましたが、対面形式で開催した前々年の来場者数400名を超える、500名超の事前登録があり、当日の実視聴数も好調で成功裡に開催することができました。

### 【開催概要】

- ・開催目的 千葉県内中小企業に対するIT化支援を推進し、併せて、千葉県内中小企業との交流・出会い深め、当該企業各社の事業の効率化・収支構造の改善を目指す
- ・開催日時 令和2年11月10日（火）10：00～17：00
- ・開催方法 Web形式
- ・開催内容 展示会（出展ブース数：会員企業16社）  
セミナー
  - ・基調講演「コロナ時代の最新WEB活用」  
講師 株式会社スプラム 代表取締役  
武内 幸次 氏
  - ・リレープレゼン「ウィズコロナ／アフターコロナ  
に向けてのソリューション」  
参加企業 ちばぎんコンピューターサービス  
(株)、東日本電信電話(株)、  
(株)ジーウェイブ、(株)千葉測器、  
富士ゼロックス(株)、  
富士通Japan(株)、大樹生命  
アイテクノロジー(株)
  - ・パネルディスカッション  
「生産性向上に向けた本当のDX」  
参加企業 ちばぎんコンピューターサービス  
(株)、東日本電信電話(株)、  
富士ゼロックス(株)、(株)千葉  
測器
- ・視聴者数 500名（概数） 視聴料、無料

- ・後援 7先 (経済産業省関東経済産業局、千葉県、千葉市、公益財団法人千葉県産業振興センター、公益財団法人千葉市産業振興財団、一般社団法人千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会)
- ・協賛 7社 (株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)京葉銀行、東日本電信電話(株)、富士通(株)、(株)ジーウェイブ、ミツイワ(株))
- ・集客方法 ポスター・チラシ配付、HP掲載、新聞広告掲載、プレスリリース、SNSの活用

### C. ロボット・カー 親子プログラミング教室

前々年に続き、「親子プログラミング教室」事業の開催を中止しました。本事業は、地域社会へのIT普及と学校のIT学習導入を踏まえ、小学校高学年生のレベルに合わせ、専用プログラムを利用し、教材の「ロボット・カー」を走行させるプログラミング学習で、実際にプログラムを組み「ロボット・カー」が直進・後退・進路変更等を行う様子を体験するもので、親子が参加するものでした。

## ② 情報システム活用啓蒙推進事業

### A. 講演会・セミナー等

#### (ア)「賀詞交歓会講演会」

令和2年度の賀詞交歓会は開催を中止しました。

### B. 広報活動

#### (ア) 広報誌「CHISAジャーナル」

第43号(総会号)と第44号(新年号)を発刊しました。

新年号の表紙は、明るい希望のある未来を願い、千葉県の名所である大海原に突き出た「沖ノ島(館山市)」の景観を掲載しました。

沖ノ島と陸続きとなった「浜辺の景観」をお楽しみいただければ幸いです。

なお、裏表紙は、昨年と同じく、協会スローガン「集まれば千葉のエンジン」のポスターを掲載し、当協会の結束力を表現しました。

#### (イ) 協会活動報告「協会だより」

当協会は、協会活動を会員と地域の方々にも知っていただく目的で、「協会だより」を作成しホームページに掲載・発信しています。本協会だよりは、理事会開催の都度作成し、理事会の審議内容や

協会組織である各部会の活動状況をお知らせしています。  
令和2年度の発信回数は5回となりました。

### (3) 情報サービスの人材育成及び確保に関する事業

令和元年度は次の事業を実施しました。

#### ①情報サービスの人材育成に関する事業

##### A. CHISA実践型新人社員研修（実践型人材養成システム）の実施

新人社員を対象とした研修で、「CHISA実践型新人研修実行委員会」が中心となって教育訓練機関と連携し実施しています。

本事業は13年の実績があり、研修受講生間に同期意識が生まれ、他企業に連絡の取れる友人ができるという副次的な効果も出ており、毎年好評を得ています。令和2年度の受講者数は15社、63名でした。

##### B. 新技術調査研究会の活動

令和2年度は、新技術調査研究会事業の実施を中止しました。

本活動は、令和2年度で18年目となる歴史を持ち、会員企業若手技術者の育成と参加者の企業間交流を主目的とした事業を行っていました。年度初めに参加者を募り、チーム編成後、新技術の動向に関する研究テーマに基づき共同研究を行い、年度末に開催する「成果発表会」で1年間研究した成果を発表する内容としていますが、新型コロナウイルス感染防止（3密回避）のため中止しました。

##### C. 技術研修会の開催

前年に引き続き、技術者育成のための研修「CHISA情報通信人材研修」を技術系、業務系、管理系、ヒューマンスキル系の4分野に亘って開催をしましたが、新型コロナ感染拡大防止を図るため、4月以降の開催を中断しましたが、感染防止対策を取る中で、7月に再開しました。新型コロナウイルスの影響を受け、計8コース、75名の受講となりました。

#### ②情報サービスの人材確保に関する事業

##### A. インターンシップ・マッチング会

令和2年度は、インターンシップ・マッチング会事業の開催を中止しました。

本事業は、インターンシップの実施を通し、学生の企業就労体験を支援しているもので、令和2年度で20年目を迎えます。

毎年参加を希望する学生が多いため学生と会員企業間で希望内容を調整するマッチング会を開催し参加者を決定していました。

#### (4) 情報サービス産業の経営基盤の確立整備に関する事業

令和2年度は次の事業を実施しました。

##### ①経営基盤の確立に関する調査、研究事業

###### A. 学生向け合同企業説明会の開催

学生向けの会社説明会を開催しました。

開催は、新型コロナ感染防止を徹底し、開催日を2月2日と2月23日の2回に分け、3密防止を図る中で、対面式で実施しました。

当協会会員企業の参加数は27社となり、ブース配置は好評であった前回と同じく「分散配置形式」としました。

当日は多くの学生が参加され、関心の高さが伺われました。参加企業側も、分散配置形式で学生との接点が増えたと概ね好評でした。

##### ②会員の福利厚生向上に関する事業

###### A. CHISA総合共済制度（別法人、「なのはな共済会」が運営）

なのはな共済会制度は、発足してから令和2年度で20年目を迎えましたが、この間、共済会の加入者に充実した保障と各種福利厚生サービスを提供し、加入企業のニーズに応じています。

組織は別法人の形を取っていますが、共済会会員の加入条件が当協会会員とされており、共済会運営委員会に当協会員も参画しそのサービス充実のために積極的な支援を行っています。

#### (5) 情報サービス産業の振興に係る国内外との交流及び連携促進に関する事業

令和2年度は次の事業を実施しました。

##### ①会員間、関連外部団体との交流・連携

###### A. 会員企業懇親会

令和2年度は、会員企業懇親会の開催を中止しました。

活動組織である部会等の枠に捉われず、広い分野での会員企業間交流が深められると好評でしたが、感染拡大防止の観点から中止としました。

###### B. スポーツ大会等

令和2年度は、スポーツ大会の開催を中止しました。

会員交流を目的としており、会員企業の従業員には好評で、感染拡大を

図るため、軟式野球大会、フットサル3情産協団体対抗頂上戦、CHISAフットサル大会の全てを中止しました。

#### C. 他県協会との交流会の開催

東京、神奈川、埼玉、山梨、福島、千葉の情報サービス産業協会6団体で組織する「広域首都圏情報団体連絡協議会（略称：メトロ）」に参加し、情報交換等をおして当協会の発展に寄与しました。

なお、令和2年度の行事内容は以下のとおりで、会議はWeb形式としました。

- ・事務局会議開催日：8月28日、11月27日、1月13日、  
2月16日
- ・幹部会議開催日：3月12日
- ・メトロエリアグリーンゴルフ大会：中止

#### ②官庁等との交流・連携

官公庁等との交流、連携をおし、下記の受託事業・助成金事業を実施する他、関係する委員会のメンバーとして参画し活動しました。

#### A. 千葉県委託事業「中小製造業向けスマート化推進事業」

当協会は入札資格を取り、令和2年4月1日より、千葉県委託事業令和2年度中小製造業向けスマート化推進事業「IoT・AI等利活用促進事業」を受託し、本年3月31日迄の1年間、その事業を展開し所期の目的を達成することができました。

今回受託した業務内容別の実施状況は以下とおりです。

- ・IoT・AI活用セミナーの開催 計1回

当協会が主催する「第2回千葉県中小企業ビジネス交流会『千葉県IT-EXPO2020』」を連携して開催

(開催概要)

- ・開催日 令和2年11月10日
- ・開催方法 オンライン方式
- ・出展企業数 16社
- ・視聴登録者数 508名

- ・IoT実習講座の開催 計3回（全て、オンライン方式）

(実施先)

- ・市原商工会議所、千葉商工会議所、船橋市および船橋商工会議所

- ・ A I 体験型実習講座 計 2 回 (全て、オンライン方式)  
(実施内容)
  - ・ 画像認証による A I 学習、A I 機械学習基礎  
※ 2 日間/回コース
- ・ 専門家派遣による支援 計 2 0 件 (別途、取組中断 1 0 件)
- ・ I o T 等ワンストップ窓口の設置
  - ・ セミナー、相談会申込等で数多くの利用実績がある。  
(概数 2 0 件)
- ・ A I 集中支援 0 件 (別途、取組中断 2 件)
  - ・ 集中支援を行っていた 2 社の内 1 社は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた先方の要請により、取り扱いを中止した。  
他の 1 社は、継続支援中であるが、同じ理由で年度は中断とした。

B. 人材確保等支援助成金 (中小企業団体コース) 事業

当協会は、前々年度に引き続き、当年度も千葉労働局から助成金を受け、人材確保事業を実施しました。業務概要、以下のとおりです。

- ・ 人材確保に関するセミナーの開催
- ・ 人材育成等に関する各種相談受付
- ・ 人材確保等に関する広報誌、ポスター等を利用した啓蒙
- ・ 合同企業説明会支援等の人材確保支援策の実施

C. スマート化推進会議 (主催：千葉県産業振興課)

I O T 活用、推進に関する関連団体の連携会議

D. 産官学連携支援機関連携会議 (主催：千葉県産業振興課)

地域未来投資促進法に係る関係機関の連絡会議で、人を中心とした I C T 利活用推進等を目的とする

E. 千葉県地域 I T 化推進協議会 (主催：千葉県政策企画課)

千葉県の I T 化を推進するため産官学で構成された協議会

F. 千葉県 I C T アドバイザリー会議 (主催：千葉県政策企画課)

千葉県の I C T 戦略検討会議



G. 千葉県男女共同参画推進連携会議（主催：千葉県男女共同参画課）  
千葉県の男女共同参画を推進する会議

H. 高度職業能力開発促進センター運営協議会  
高度職業能力開発促進センターの運営、助言を行う協議会

③加盟外部団体等

令和2年度は下記団体に加盟して活動する他、収集した情報を活用して  
当協会の発展に寄与しました。

- A. 情報サービス産業協会（J I S A）
- B. 全国地域情報産業団体連合会（A N I A）
- C. 広域首都圏情報団体連絡協議会（メトロ）
- D. 首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議
- E. 千葉社会保険協会

以 上